

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
生化学Ⅲ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	山口 聖子
授 業 概 要					
<p>生体内の代謝を説明する上で生化学は必須の項目である。生化学Ⅰ、生化学Ⅱにおける基礎知識をベースに、生化学Ⅲでは、各器官で代謝を理解、栄養学及び薬理的側面を踏まえた生体内代謝について、理解を深める。特に、栄養及び薬理に関しては臨床動態につなげる基礎を教授するため、しっかりと講義についてくること。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事（食品含む）による栄養素の摂取とその代謝について理解できる。</li> <li>・ 各種器官の生化学について理解できる。</li> <li>・ 薬の作用機序の基礎について理解できる。</li> <li>・ 生理活性物質について理解できる。</li> <li>・ 細胞における情報伝達について理解できる。</li> <li>・ イオンチャンネルやトランスポーターについて理解できる。</li> </ul>					
実務経験のある教員					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	栄養学：食事と栄養				小杉 ひかる
2	栄養学：栄養素の働き				
3	栄養学：食物の消化と栄養素の吸収・代謝				
4	栄養学：食事と食品（食文化・食事摂取基準・食品と栄養素）				小丸 圭一
5	薬の生体内動態と変動因子				
6	薬の作用機序：調節物質の作用機序				
7	薬の作用機序：イオンチャンネル、トランスポーターの作用機序				
8	薬物の相互作用				
9	サプリメント・ビタミン・輸液の動態				山口 聖子
10	器官の生化学：血液				
11	器官の生化学：肺				
12	器官の生化学：腎臓				
13	器官の生化学：肝臓				
14	器官の生化学：膵臓				
15	器官の生化学：筋、骨				
学 習 方 法					
教科書および配付資料を使用して講義する。					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 項目ごとに小テストを実施する。小テストは講義開始時に行う。</li> <li>・ 定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。</li> </ul>					
先 修 科 目					
先 修 科 目					
教 科 書 、 参 考 書					
<p>[教科書]          シンプル生化学 改訂第7版 林 典夫 他 南江堂</p>					